

令和8年度全国学力学習状況調査の結果

京都市立桃山南小学校

4月23日に、6年生を対象に実施された「全国学力学習状況調査」について、結果がまとまりました。本調査は、国語・算数のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

総合結果（国語・算数）

学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題が出題され、各大問において「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善のメッセージを発信されています。本校の正答率は、国語が59%全国平均（60.9%）、算数は56%全国平均（56.4%）という結果でした。

国語科より

国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域では、全国・京都府平均とほぼ同じでした。日々の授業で、話し合い活動は充実している成果だと考えられます。しかし、「書くこと」「情報の扱い方に関する事項」の領域では、全国・京都府の平均より10%近く低い結果となりました。今後も自分の考えやまとめ・振り返りなどを書く時間をより大切に丁寧に指導を進めていく必要があると考えられます。

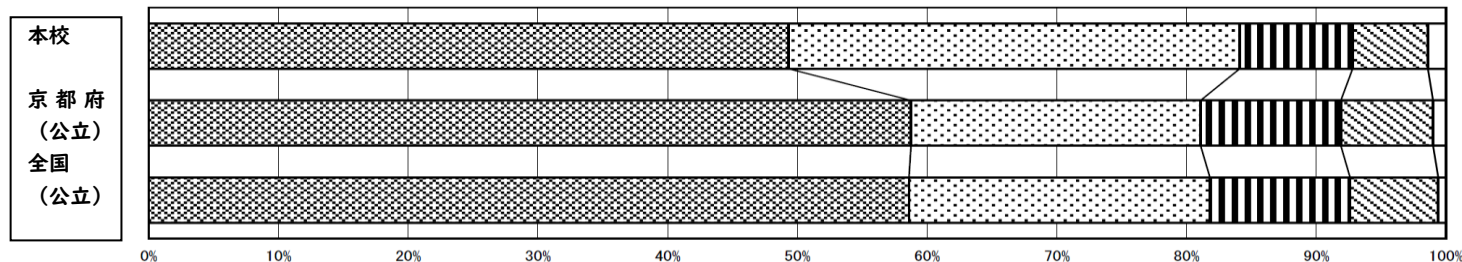
算数科より

算数では、「測定」の領域が、全国・京都府平均を上回っていました。「数と計算」「データの活用」の領域は、全国・京都府平均とほぼ同じでした。「変化と関係」領域において正答率が低い結果となりました。5年生で学習する「割合」の単元をはじめとし、一つ一つの単元の定着だけでなく、「考え方」を大切にした授業を進めていく必要があると考えられます。

児童質問紙調査から① 将来の夢や目標について

質問番号	質問事項											
(10)	将来の夢や目標を持っていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	49.3	34.8	8.7	5.8							0.0	1.4
京都府（公立）	58.7	22.3	10.8	7.1							0.0	1.0
全国（公立）	58.6	23.2	10.8	6.8							0.0	0.6

1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 あてはまらない

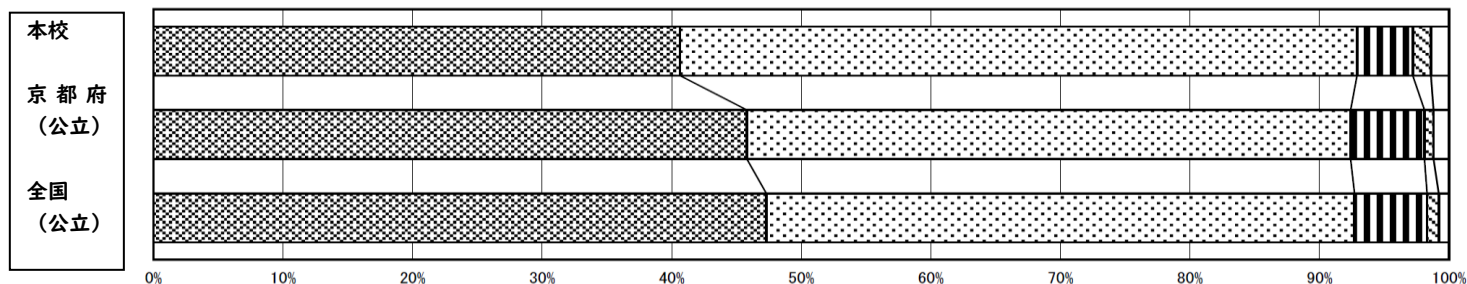


「学校に行くのは楽しい」「友だち関係に満足している」「普段の生活の中で幸せな気持ちになる」などの質問では全国・京都府よりも10%以上高く、当てはまるという結果になっています。しかし、「将来の夢や目標を持っていますか」という質問では「当てはまる」の回答が全国・京都府よりも約10%低い結果となっています。自分の将来に対して具体的になくても夢や目標を持つことは学校教育目標の「自ら学び、考え、可能性を發揮しより良い社会の創り手となる子の育成」につながると考えます。学校生活を楽しみ、家庭生活で幸せを感じている「今」に満足感を持てることは良い事ですその先の自分の将来へ目を向けて考えられるように働きかけていきたいと考えています。

児童質問紙調査から② 人が困っているとき進んで助けているか

質問番号	質問事項											
(11)	人が困っているときは、進んで助けていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	40.6	52.2	4.3	1.4							0.0	1.4
京都府（公立）	45.8	46.6	5.7	0.7							0.0	1.2
全国（公立）	47.3	45.4	5.6	0.9							0.0	0.8

1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない



「人の役に立つ人間になりたいと思うか」「地域や社会をよくするために何かしてみたいか」という質問に対しても全国・京都府よりも「当てはまる」が低い結果になっています。一方で「自分と違う意見について考えるのは楽しい」という質問では90%を超える児童が楽しいと回答しています。様々な意見に触れ考える中で自分を見つめ、さらに自分と関わりのある周りの人たちや地域・社会へと目を向けていくことができるように育てていくことは学校教育目標にもある「より良い社会の創り手となる子の育成」につながると考えています。より良い人間関係を構築していくことができるように教育活動を進めていきたいと思ひます。

全体を通した本校の成果と課題

国語・算数ともに全体的にみると、全国・京都府の平均を下回る結果となりました。しかし、質問紙調査の、「すべての書く問題で最後まで回答を書こうと努力した」の項目では全国・京都府よりも「当てはまる」と「どちらかといえばあてはまる」と肯定的な回答の割合が10%以上高い結果となりました。諦めずに最後まで粘り強く問題に向き合おうとする姿が見られる結果となりました。「話し合い活動の中で自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりする」「友達や周りの考えを大切に、お互いに協力しながら課題解決に取り組む」などの項目でも肯定的な回答が多く、授業や様々な活動の中で話し合ったり交流し合うことの良さを感じていることがわかります。日々の学習活動などで「話し合う活動」が充実していた成果だと考えられます。これからも学習はもちろん様々な教育活動の場面で子ども達一人一人の思いを大切にしながらより良い人間関係を築いていけるように教育活動を進めていきたいと思ひます。

保護者の皆様へ

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性を更に伸ばし、課題を解決していくためのものです。結果が学力のすべてを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。

学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。確かな生きる力をつけていくために、引き続き、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりに一層のご協力をお願いいたします。

京都市の結果は「京都市教育委員会ホームページ」に公表されています。